

## 平成28年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所		平成28年5月27日(金) 金沢市役所 第1委員会室	
委員 (委員数5名) (出席数5名)		委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授) 委員 舟橋 秀明(金沢大学准教授)	
次第		1 開会 2 報告案件 (1) 入札・契約制度の改正等について 3 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等 ア 平成27年度の本市発注工事及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯 (平成28年1月1日から平成28年3月31日) 4 閉会	
抽出案件		5件	
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卯辰山地区配水池統合事業 卯辰山配水池撤去工事</li> <li>・ 市役所庁舎前広場整備工事(情報発信表示板設置工事)</li> </ul>
	随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚泥共同処理施設ケーキ圧送設備等定期修繕工事</li> </ul>
委託	制約付き一般競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年度 西部水質管理センター3系沈砂池設備等更新実施設計業務委託</li> </ul>
	指名競争入札	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 千田町地内道路改良工事に伴う測量業務委託</li> </ul>
審議内容		別紙のとおり	
委員会による報告 又は意見の具申		平成27年度の発注工事等に係る入札・契約手続きの運用については、適正に行われていると判断する。	

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
 金沢市総務局監理課 工事契約係  
 電話:076-220-2101

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。  
 現行の入札契約制度及び平成27年度の工事・委託業務の業者選考等は適正であることを確認した。  
 今年度の入札契約制度の改正の影響も含め、引き続き、現行制度の検証を続けるとともに、国・県や他都市の状況との比較検討を行いながら、不断の見直しを行うことで、より一層、公平・公正で透明性の高い入札契約制度の構築に努めてほしい。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</b></p> <p>○ 工事成績評点の利活用について、6.5点未満の成績をとった場合は、1年間は入札に参加できない。このような規定は事実上の指名停止と同じことではないのか。              工事成績評点の利活用は、入札制度の中でも大きなもののひとつなので、不断に見直すことを検討して欲しい。</p> <p>○ 平成28年度から電子くじの利用が開始されているが、運用状況はどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事成績評点の利活用について、本市と国・県の要件を比較すると、6.5点未満の取扱いも含め、相違点があるのは事実である。今後は他都市の利用状況等も参考にしながら、制度の見直しを検討していきたい。</li> <li>既に数件執行しているが、事業者からの苦情等もなく円滑に運用されている。また、機器トラブル等もない。                      なお、事業者に協力いただきテストを行い、その過程を公開することで、不正のできない公正なシステムであることの周知に努めている。</li> </ul>
<p><b>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</b></p> <p><b>卯辰山地区配水池統合事業 卯辰山配水池撤去工事</b></p> <p>○ 入札辞退者が多いが、理由はどのようなものが考えられるか。</p> <p>○ 辞退者が多いにもかかわらず、最低制限価格と同額での落札となっているが、その理由は。</p> <p><b>市役所庁舎前広場整備工事（情報発信表示板設置工事）</b></p> <p>○ 本工事は最低制限価格とほぼ同額の落札であり、最低制限価格を下回ったものも僅差である。公正な競争の結果であり、妥当な入札と思われる。</p> <p><b>汚泥共同処理施設ケーキ圧送設備等定期修繕工事</b></p> <p>○ 定期修繕は何年ごとに行われているのか。</p> <p>○ 本工事だけではなく他の随意契約でもそうだが、機器設置時は入札で、その後の修繕等は部品に汎用性がないことから随意契約という例が多く見られる。今後はできるだけ汎用性のある部品を用いた設置工事ができないか、検討課題として欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内での工事であり、また、時期も冬場であったことから、施工にあたり様々な事項について配慮する必要があったため、難工事であると判断し、辞退する業者が増えたと推察している。</li> <li>27年度は26年度に比べ、工事量が少ないため、難工事であっても受注したい者と、難工事のため敬遠した者との受注欲の差が結果に現れていると推察している。</li> <li>毎年点検を行い、2年ごとに定期修繕を行っている。</li> <li>今後の検討課題としたい。</li> </ul>

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>平成27年度 西部水質管理センター3系沈砂池設備等更新 実施設計業務委託</b></p> <p>○ 予定価格と同額での入札となったが、予定価格の事前公表が影響したのではないか。</p> <p>○ 今後は発注時期なども考慮した予定価格のあり方を検討して欲しい。</p> <p><b>千田町地内道路改良工事に伴う測量業務委託</b></p> <p>○ 特に意見なし。</p>	<p>・ 今回の工事は年度末の発注であり、また、更新対象の機器点数が多く、手間のかかる業務であったことが原因と考えている。</p>